

< Vol.12 の記事 >

浦和市民リーグ終了 選手コースは1部6位に！

浦スポにオフはないのか？ クラブ史上初 全5チームが試合！

【選手は1部6位に終わる】

選手コースが参戦している埼玉市民浦和リーグ1部の最終成績が発表されました。

浦スポ選手コースは、1勝2分勝ち点5で、辛くも6位に入り、1部残留を決めました。今期は、なかなか波に乗れず、集中を欠いた試合を繰り返してきましたが、下位(7~8位)チームから着実に勝ち星を上げたことが効き、6位につけて残留を決めました。

一方、県3部への昇格を争うブロックリーグでは3勝3敗1分けの勝ち点10で8チーム中4位につきました。

来期は、ユースからの新加入選手も予定されており、上位進出にとどまらず、県3部へステップアップを期待するところです。

	市役	東	レ	大	岸	本	浦	南
浦和市役所		0-3	0-2	2-4	4-1	0-0	2-3	1-2
東浦和ク	3-0		1-3	3-2	0-3	0-1	2-0	0-0
REDSアマ	2-0	3-1		5-1	1-2	3-1	3-0	3-1
大原カズ	4-2	2-3	1-5		0-2	1-3	1-1	0-1
岸町ク	1-4	3-0	2-1	2-0		5-1	4-1	3-0
本太ク	0-0	1-0	1-3	3-1	1-5		5-0	1-1
浦和SC	3-2	0-2	0-3	1-1	1-4	0-5		3-3
南十字星	2-1	0-0	1-3	1-0	1-3	1-1	0-0	

ちなみに、優勝チームは、REDSアマが、勝ち点18・得点20で岸町クラブと並びながら、得失点差(1差)により初栄冠を勝ち取りました。

また、ブロックリーグは、REDSアマと2部の埼玉朝鮮蹴球団が、県南各地の代表と争う昇格トーナメントも勝ち抜き、県3部に昇格を果たしました。

これで、県3部には浦和リーグから4チームが参戦することとなりました。

【けやきは12チーム中9位に沈む・・・】

けやきリーグは12チームのリーグですが、他のリーグと合わせるために1チームの試合数が7試合となっている変則的なリーグです。

初戦に4-0の大勝を納め、楽なリーグと油断したのが半年続いたのか、その後、全く勝ち星に恵まれず、1勝5敗1分(得点9 失点14)の勝ち点4で、12チーム中9位の成績で終了しました。

けやき優勝の若手バリバリチーム シグナルFCに最終戦ではあわや引き分けまで持ち込もうかという接戦(結果は0-1で惜敗)を演じ、他チームからは「やるな～」と言われていたのですが・・・。

来シーズンは、生涯の若手を主体に編成することを考えており、上位進出が期待できます。

【シニアは優勝争いに破れ失速・・・】

大宮市在住・在勤者を中心にFC彩を結成し参加している大宮シニアリーグ(35歳以上)では、5戦を終了した時点で4勝1敗と好位置につけ、優勝を争うと見られた宮原FCとの第6戦に臨みましたが、1-3で敗れてしまいました。

結果的には最終戦も前半は圧倒的に押し込みながら、1点にとどまり、後半2点をとられ1-2の逆転負けを喫してしまい、有終の美を飾れませんでした。最終成績は4勝3敗ですが、順位はまだ公表されていません。

【ジュニアユース初勝利！】

第11回埼玉県クラブジュニアユースサッカー選手権(U-14)大会(12月9日、16日、23日、24日)いわゆる新人戦となる本大会は、すべてのチームが1~2年生の新チームで臨む大会です。浦スポは、2年生3人、1年生10人の計13名で全4戦を戦い抜き、2勝2敗のグループ4位に終わりました。

新チーム公式戦初勝利となった川越戦は駿之介と将輝の2得点で逃げ切りました。

最終戦ノルテとの1戦は、中盤、最終ラインのチェックの出足で圧倒的に勝利、ナベのシュートがバ

ーを叩くなど、惜しいチャンスをいくつか逃しながらも優位のまま前半を終えました。後半、開始早々1分に、集中力を欠き先制されましたが、後半10分頃に、修平の縦パスから抜けだした米が、Pエリア外で相手GKにタックルで倒されました。これで得たFKを米が直接決めて同点においつき、その後、ナベ、米が1点ずつを加え、やや疲れの見えた終了直前に1点を返されましたが、終始気力で早いチェックを心がけた成果が実り、3 - 2で終了しました。

序盤戦で惜しい星を落としたことからグループ4位となっただけでしたが、グループ1位となったノルテとのこの1戦は、大きな自信になったと思います。

Eブロッグ	HAN	川	浦和	鴻巣	川	得	失	勝点	順
HAN						?	?	7	?
川越ブレイザー						?	?	0	5
浦和SC	0-3	2-0		2-5	3-2	7	10	6	4
鴻巣FC						?	?	7	?
大宮川						?	?	9	1

余談になりますが、本大会を通じ（特に第3戦の23日は会場当番のため他の試合もつづきに見ましたが）他チーム指導者の素行・発言の悪さがとても気になりました。

少しミスをした選手への罵声にとどまらず、審判への侮辱的発言、ベンチでの喫煙など、耳・目を覆いたくなる有様です。

指導者や先輩のこのような態度は、確実にJYやYの後輩達に良い影響を与えないと考えます。

浦スポの皆さん！ 楽しく・明るく・されど厳しいサッカーをやりましょうね！ けっして怖いサッカーや汚いサッカー、危ないサッカーはやめましょうね～。

また、JYやYの年代は、勝利至上ではなく、育成が主たる目的であることを考えた時、このような勝ち上がり（グループ2位までが2次リーグ進出）方式の大会ではなく、全チームに試合の機会がなるべく多く確保できるよう優勝チームなどを決めないもっと多チームによるリーグ戦方式の導入などが望ましいのではないかと強く感じました。JYは優勝を争うような大会が多すぎます。大会に合わせて活動しているような状況は、どこかおかしいと感じざるを得ません。

【23日は5チームが試合！】

市リーグ、市民大会も終わり、3連休はのんびりとクリスマスを楽しむか、大掃除に精を出すかと考えていた方が多かったと思いますが（^^）23日はクラブ史上初！ なんと同日5チーム試合決行、し

かもJY会場当番！ という悪夢のような（いやいやサッカー三昧で幸せか・・・）日曜日となりました。

前兆は土曜日からありました。。22日（土）午前中は、ユースが与野高校と練習試合30分×3本で1 - 1の引き分け後、午後は荒川で他コースが練習でしたが、シニアの方々には練習後、農大で日が暮れるまでライン引きなどの会場準備をお手伝いいただきました。

23日（日）は、生涯Bチーム（若手）が三浦グラウンドで9～12時に3チームの親善試合に参加する一方で、シニアは農大に8時半に集合し、会場設営の続きを行い、10時からの大会運営に備えました。

浦スポJYが、11時半から第2試合を戦っている中、隣接する秋ヶ瀬公園グラウンドF1には浦スポユースと、本太ユース、大宮北高の3チームが集合し三巴の練習マッチ、その隣のF2グラウンドでは、浦スポ選手コースが市民リーグ強豪オブラと30分×3の練習マッチ（1 - 0勝利？）を戦っていました。

メは、シニアです。JYの大会が終わった農大グラウンドに本太パパスを迎え、3時から20分×3本の親善試合（4 - 0勝利！）を行いました。

その後、農大の片づけを行い、5時過ぎに無事解散となりました。

いやはや・・・前日、当日と寒い中会場設営・会場当番・機材撤去をお手伝いいただいた、大村さん、金子（英）さん、土橋さん、佐藤さん、小林さん、本当にご苦労さまでした。嶋さん、小林（邦）さんも最後までご苦労さまでした。池森さんには、線審までやってもらい、お疲れさまでした。来年は、もっと審判員増やしましょうね！

しかし！ ユースも、選手も、生涯も、シニアもそうだけど、試合の時はちゃんと参加してくださいね～（ちゃんと来てるのはJYだけ！）遅れるなら遅れるで一報入れるか、来られないなら誰かに来られないと伝言してください。どの会場も人数がギリギリで、試合が危ぶまれる状態でした。こんなことでは、来シーズンの5チーム正式活動が行えません。誰のチームでもなく、皆さん一人一人のチームなのでから。。。

それと、他のコースの活動についても目を通しておいってくださいな。助けあわなければ、活動が継続できなくなりますよ～（人数不足や審判不足、会場当番の不備は、登録抹消につながります！）

『お詫びと訂正』

vol.11 のお店紹介で、珈琲豆屋さんの店名は、「南回帰線」の誤りです。お詫びして訂正させていただきます。そういう訳で、サービス交渉がまだ出来ていません。。。（苦笑）近々に修正版を持って交渉してきます。（け）